

## 個人記載例④(6次産業化、企業との連携)



# 「ディスカバー農山漁村の宝」応募用紙（個人用）

<b>都道府県名（必須）</b>	〇〇県	<b>市町村名（必須）</b>	〇〇市
------------------	-----	-----------------	-----

<b>氏名（必須）</b>	〇〇
---------------	----

### 1. キャッチフレーズ（必須）

“〇〇”と“〇〇”から新たなつながりを生む！

### 2. 活動のきっかけ（必須）

〇〇地域では〇〇災害といった生活に直結した課題がある。これらの課題は「〇〇」とし、人が住み続けるために解決が必要である。また、地域活性を継続的に行うことも必要となり、〇〇団体を〇〇土地改良区や地域からの協力を得て設立。

現在は農家の高齢化、後継者不足が進む中、「〇〇組合」を立上げ6次産業化を推進。

### 3. 取組概要（必須）

「〇〇」の充実、それを支える「〇〇」により、地域活性と住み続けられる地域づくりを実施する。

### 4. 取組の具体的内容及び成果（効果）（必須）

#### 【6次産業化】

#### ① 〇〇〇〇の企画

地域で生産された〇〇米を利用して、〇〇として“〇〇で炊く「〇〇〇〇」”を企画した。

また、〇〇米を米粉に加工し、〇〇や〇〇を開発した。レストランのメインメニューやマルシェの看板商品に「グルテンフリー食材を提供」としても企画した。

#### ②酒米“〇〇〇〇”を利用した〇〇酒「〇〇〇」の企画

〇〇を設立し〇〇の想いを伝える日本酒を企画。酒米“〇〇〇〇”を栽培し、酒蔵に委託をしている。また、〇〇の活躍は〇の〇〇により支えられたことから、“〇〇”として販売している。

#### ③〇〇酒「〇〇〇」による地域活性化

〇〇酒「〇〇〇」に続き、新たな商品や日本酒の企画・販売を実現し、地域の農産物の付加価値向上と需要拡大に貢献している。また、〇年に初のイベントを開催し、続けているうちに地域の夏の名物となっていた。他にもイベントを企画し、地域外からの来訪者を呼び込んでいる。〇年間のうちに、来訪者数は〇人から〇人へ増加、連携先の企業も〇社増加し、交流人口の創出や地域経済の活性化につなげている。

#### ④視察受入れ

地域資源を活用した商品開発や企業連携による地域づくりの取組について、自治体、企業、生産者団体、教育機関等からの視察を積極的に受け入れている。視察では、地域の農産物を活用した商品企画の経緯や販売戦略、企業との連携手法、交流人口創出の取組等を紹介するとともに、現地見学や意見交換を実施している。その結果、年間〇件、延べ〇人以上の視察を受け入れており、視察後には〇〇地域で類似の地域資源活用や企業連携の取組が展開されるなど、農山漁村振興の横展開に貢献している。

#### 【企業との連携】

#### ①〇〇の誘致

企業と連携し、〇〇を利用した地産地消〇〇を開発し、〇〇〇の多目的利用促進を図っている。

#### ②〇〇の企画

〇〇会社とコラボレーションし、〇〇と〇〇の〇〇を企画。また、〇〇の〇〇を企画し、多くの来訪者を迎えている。

#### ③企業と連携した〇〇対策の企画

企業と連携し、〇〇対策の実証実験や新たな知見を創造し、地域外へ発信する企画を立ち上げた。

#### ④情報発信

地域の農産物を活用した商品や企業連携による取組について、SNS、HP、イベント、メディア等を通じて積極的

## 個人記載例④(6次産業化、企業との連携)

に情報発信を行っている。特に、地域の歴史や文化、農産物に込められた想いをストーリーとして発信することで、多くの共感をよび、地域の認知度向上につながっている。また、イベント参加者や来訪者による SNS 投稿等を通じて情報が拡散され、年間〇万回以上の閲覧や〇件以上の情報発信につながるなど、地域の魅力発信や関係人口の拡大に貢献している。

### 5. 活動実績 (必須)

項目	単位	RO年度	RO年度	RO年度	RO年度	RO年度	RO年度 (見込み)
〇〇まつりの来場者数	人	9,000	7,500	5,000	7,000	15,000	20,000
	解説: 〇〇まつりの来場者数(開催は一日のみ)						
栽培面積(米粉、酒米、大豆等)	ha	8	16	24	26	28	30
	解説: 栽培面積(RO年度内訳: 大豆〇ha、米〇ha、枝豆〇ha、牡丹〇ha)						
特産品の売上	円	700,000	650,000	1,200,000	1,100,000	1,500,000	(1,600,000)
	解説: 地域資源を活用した特産品(〇〇酒「〇〇〇〇」)の売上						
〇〇〇〇の売上	円	—	—	—	500,000	550,000	(700,000)
	解説: 新規〇〇をブレンドさせた〇〇の売上						
農村企業連携	企業数	—	—	—	—	3	5
	解説: 〇〇連携として連携している〇〇数						

### 6. 活動の主な変遷 (必須)

初年度	RO年度	RO年度	RO年度	RO年度	RO年度	RO年度 (見込み)
〇〇の有料化	「〇〇」に選定され、「〇」の充実化に着手	〇〇の設立	〇〇の販売促進の充実化等	〇〇“〇〇”の販売開始	「〇〇」、「〇〇」充実化のため計画書作成	〇〇の配布、〇〇の開催

### 7. 今後の展開 (必須)

- ① 〇〇とコラボした〇〇による〇〇“〇〇”のブランディング。
- ② 共通価値の創造としてCSVによる〇〇の充実化と拡大。特に〇〇対策や〇〇の分野に注力していく。
- ③ 地域の〇〇を利用した〇〇の企画立案。
- ④ 〇〇の更なる推進として、〇〇、〇〇等を企画。
- ⑤ 〇〇のうち、〇〇の立上げと実施。〇〇コンテンツの作成。

### 8. あなたとあなたが活動する地域の関係団体や関係者との協力・連携の状況について (必須)

私は〇〇〇〇の〇〇に始めた“〇〇”をきっかけに、〇〇を中心とした住民が〇〇への興味を示すようになり、農村の維持管理への協力意識が高まった。〇〇が実施されるようになるとこれまでの活動がベースとなり、多くの関係者が参加するようになった。この〇〇を利用した〇〇会では団体が連携している。また、地域活動への積極的な参加(〇〇)により地域の住民だけでなく、〇〇とも協力・連携が取れる信頼関係を構築している。その形として、「〇〇〇〇」と「〇〇〇〇」を担う新たな団体である〇〇を設立し、地域内の団体と連携している。

現在では〇〇は若手に、〇である“〇〇”の事務も任せられる協力者が現れ、信頼関係が構築できている。

### 9. 活動状況がわかる写真、効果を示す図表 (必須)

写真・図表等	写真・図表等
--------	--------

## 個人記載例④(6次産業化、企業との連携)

( )  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">写真・図表等</div>	( )  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">写真・図表等</div>
( )  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">写真・図表等</div>	( )  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">写真・図表等</div>
( )	( )

### 10. 表彰等の受賞歴 (該当あれば)

表彰名等(受賞年度)	主催者
〇〇年:〇〇運動 大賞	〇〇連合会
〇〇年:〇〇表彰	〇〇省

### 11. 活動に関するPR・エピソード (自由記入、写真等添付可)

〇〇年前に〇〇〇〇の努力により設立された〇〇〇〇。そして、先人たちの維持管理により守られてきた〇〇〇〇を通じて〇〇地域では先人たちの想いや協働力が脈々と受け継がれています。〇〇〇〇は「〇〇」を明確に示す大きな役割を担ってきました。〇年からは「〇〇〇〇」を開始し、地域の人たちの〇〇〇〇の大切さを地域に根付かせました。そして、この〇〇は開始から〇年間で〇の〇〇を行いました。また、〇〇〇〇を自ら立上げ、〇年は〇人が参加しました。〇〇年には〇〇〇〇の〇〇を〇〇、〇〇年には国の〇〇、〇〇に登録されるなど、土地改良事や農村活性化に尽力してきました。ただ、活動を〇年近く続けていく中で、当然ながらスタッフも年を取り、いよいよ若い世代へつないで行かなければならなくなってきました。

そこで、〇〇〇〇という団体が中心という〇〇から、経済活性も行いながら地域を守る団体を根付かせる〇〇に移しました。その団体として〇〇を設立しました。〇〇では、〇〇を活用し、〇〇がつながり、新たな価値を創造する活動として「〇〇」と「〇〇」を主体とした事業展開を図っています。現在、〇〇〇〇では〇〇と協議を行っており、そのうち〇〇とは具体的な連携に向けた活動を行っています。〇〇との連携で〇〇に訪問してもらい、田舎の空気、木々の緑、色とりどりの花さといった自然本来を体感するとともに、心身を整える〇〇を企画しています。

また、with コロナやポストコロナにより、今後、〇〇〇〇が大きく転換されていく中で、〇〇が〇〇できない状況下でも連携できるコンテンツとして「〇〇」を閉じ込めた〇〇を企画しています。また、〇〇〇〇を利用した〇〇をしています。

私たちの〇〇は、〇〇となり、農村を先導し、若者たちの道標となる活動を今後も継続し、発信していきたいと思っています。

12. 応募いただいた連絡先に、今後、農水省より各種施策等に関する情報をお知らせする場合があります。希望する場合は右の□に✓をご記入ください。	情報を希望する <input checked="" type="checkbox"/>
---	--